

郡上市のこれまでとこれから

健康的な生活と福祉の 充実を進めるまちづくり

郡上市民病院の新築

平成16年の郡上市発足に伴い、「郡上中央病院」を改め「郡上市民病院」となりました。施設の老朽化や診療科および診療設備の充実を図ることを目的に、平成18年に大正町公園敷地内に新築移転し、これにより郡上市の中核病院としての機能を備え、急性期から慢性期までの幅広い医療を提供する体制が整いました。また、一般病床数も旧病院より17床増床し100床となり、療養病棟(50床)も新設しています。

一方で、慢性的に医師や看護師、助産師不足は続いており、機能を維持するためにスタッフの充足を図る必要があります。

今後も市の中核病院として医師等の確保に取り組むとともに、現在の診療科を維持しつつ、可能なかぎりの地域完結型の病院を目指し、医療サービスの充実を図っていきます。



日本医療機能評価機構による病院機能評価3rd.Gの認定

郡上市民病院では、患者さんが安全・安心に医療を受けられるよう、院内の連携を強化し、今まで以上に医療サービスの質を高めたことで、日本医療機能評価機構による病院機能評価3rd.G認定を受けました。

郡上市民病院ナイトスクールの開催

医療職・事務職員が病院を飛び出して、郡上の医療の現状やより良い医療のあり方について、市民の皆さんと意見交換を行う機会として、「ナイトスクール」を開催しています。

市内各所で開催し、市民病院への要望をお聞きするとともに、病院の現状について市民の方に知っていただくことができました。

今後も、市民に信頼され、愛される病院であり続けるために、日ごろ関心のある事例などを取り上げることでより多くの市民の方に参加してもらえるよう内容の充実を図っていきます。

県北西部地域医療センターの設置

広域連携のもとに持続可能な地域医療体制の構築を目指す仕組みとして、国保白鳥病院を基幹病院とし郡上市・高山市と白川村のへき地診療所を含めた「県北西部地域医療センター」をスタートしました。

センター内での効率的な人材の共用を進めることで、へき地に暮らす患者さんにも多様な診療を受ける機会を提供できるようになりました。

郡上市とその周辺自治体のへき地診療所との連携を深め、住民への医療・福祉サービスの維持向上を図っていきます。

また、センター内の医療や介護の関係職員の研修機会を充実させ、持続可能な地域医療を担う組織づくりに取り組んでいます。

自殺予防対策の推進

「郡上市いのちの支え合い(自殺対策)行動計画」を策定し、関係機関・団体との連携により、自殺予防や心の健康づくりを推進しています。

今後も、「郡上市いのちの支え合い虐待防止推進協議会」を母体として幅広い機関、団体と連携し、自殺予防や虐待防止を総合的に推進していきます。

(相談の周知、心の健康づくり教育、ゲートキーパー養成等)

まめなかな和良21プランの策定

和良町内の各種団体の代表者及び公募による数名をメンバーとして推進検討部会を設置し、「まめなかな和良21プラン計画書」に基づいて、住民・関係機関・団体が健康づくりについて取り組み、効果的な推進を図るための活動を行っています。課題や活動を検討・共有することにより、和良町民の健康意識の向上につなげています。

今後も、5年毎に計画目標値の達成状況を確認しながら、更なる健康づくり活動を推進し、健康増進を図っていきます。また、全住民対象に健康調査を行い、その結果や課題を周知し、部会や各種団体で活動を検討し、実践へとつなげていきます。

健康づくりプロジェクトの実施

～Let's 健活 Get ええもん～

郡上市に住むすべての人が健康に関心をもち、自ら継続して健康づくりに取り組むことができる環境づくりを目指して事業を開始しました。3人以上のグループで健康活動に継続して取り組んでいただくことで、活動実績に応じた特典がもらえます。

活動としては、ウォーキングなどの運動、認知症予防や食生活改善といった内容に取り組まれています。また、プロジェクトの周知や申請・報告への支援をいただく企業の登録も行っています。

市民の健康づくりを企業と協働してサポートすることで、地域での健康活動が広がり、市民の健康意識の高いまちづくりの実現を目指します。



認知症総合支援の取り組み

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、情報提供、住民啓発、人材育成、介護者への支援、早期発見・早期対応等の施策を総合的に展開しています。

平成20年から「認知症サポーター養成講座」を継続的に実施するとともに、平成27年からは認知症カフェ「良良カフェ」を開設し、交流の場を創出しました。また、見守りに係る事業者との連携協定も締結しています。平成30年から認知症地域支援推進員を配置し、あわせて認知症初期集中支援チームを設置しています。

認知症に関する体制を強化することで、認知症の方の社会参加を促進し、担い手の一員として活躍できる地域づくりを目指します。

今後は、認知症サポーターの活躍の場づくりを進め、認知症カフェなど住民主体の認知症支援活動を拡大するとともに、企業、公益団体等の協力体制を強化し、認知症の方の就労(ボランティア含む)の場の拡大を図っていきます。



介護職員の確保に向けた取り組み

介護職員の人材不足を解消するため、新規就業者確保対策として介護職員初任者研修受講経費の助成等を実施しています。また、離職防止対策として介護職員の集いを開催し、悩み事などを相談しあえる場の提供を行っています。

平成30年には、郡上北高等学校と白鳥病院の連携による介護職養成課程を創設しました。

介護業界への新規就業者を可能な限り確保し、なお不足する人材については外国人の招へいにより補うことで、介護サービスを継続的・安定的に提供できる体制を目指します。

現在行っている初任者研修受講費用の補助や高校との連携による介護職の育成に加え、市内介護事業所への就職を条件とした独自奨学金の創設や移住促進と介護就業者確保のタイアップ事業など、新規就業者対策の強化を図っていきます。